

2017. 2. 5



NPOフォーラム・だより No.77

NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 1016 さらしな館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp>

会員・寄付募集中! ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム
年会費=A会員 2,000 円(総会出席権あり)/B会員:個人 1,000 円(ニュースのみ送付)・法人 10,000 円

□ 松岡の里山を椿でいっぱいにして! 植樹会

◎ 2月11日(土) 松岡八幡宮 ※駐車場あり (安房支援学校から小塚大師に向かい、ポスト・商店の角を左折)

先着 30 名 (申込: 松岡椿の森を造る会 吉田 080-2390-2180)

持物=飲物・軍手・タオル・汚れてもいい靴 ※小学生以下は保護者同伴で

10:00~12:00 植樹 講師: 小池秀憲氏 (樹木医・森林インストラクター)

12:00~13:00 昼食 (植樹参加者には軽食サービス!)

13:00~15:00 ウォーキング (松岡観音~金毘羅山~松岡八幡神社~福原有信生誕地~小塚大師)

資生堂創業者・福原有信の生誕地である松岡区(館山市竜岡)では、松ヶ岡八幡神社の境内を椿の森にしようと発起し、境内の山林を整備中です。椿は館山市木であり、資生堂ロゴ「花椿」にもちなみます。去年は、世界的な椿研究者であった故小原謹治の庭園から苗木を分けていただき移植しました。今回は、ヤブ椿 30 本を植樹の予定です。午後からのウォーキングのみの参加も大歓迎です。

□ 煎茶道を楽しむ会 in 青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅

◎ 2月26日(日) 12:00~15:00 入館料 200 円(友の会会員は無料) 一服 300 円

茶道教授・天内翠紫先生とご一門をお迎えし、お点前をいただきます。抹茶とはちがう煎茶道をお楽しみください。定員: 12 時・13 時 14 時、各回先着 10 名

□ 小谷家のひな祭り in 青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅

◎ 3月3日(金)~5日(日) 入館料 200 円(友の会会員は無料)

小谷家に古くから大切にされてきた雛人形や、江戸末期と思われる高砂人形などを特別展示します。

青木繁「海の幸」記念館 友の会

会員募集 年会費 2,000 円

公開日は入館無料、会報送付

郵便口座 00150-6-616201

名義: 青木繁「海の幸」記念館

□ 早春の館山を巡る特別モニターツアー ~ 東京竹芝から高速ジェット船 75 分!

◎ 2月17日(金)~18日(土) 41,900 円のところ 21,600 円(税込) 定員: 先着順 35 名

主催: 千葉県館山市客船等歓迎委員会 問合せ・申込: 03-3455-2588 館山モニターツアー事務局

協力(ガイド): NPO法人安房文化遺産フォーラム

【内容】・東京竹芝棧橋朝 8 時出航 (高速船 75 分)

・城山公園・館山市立博物館 ・青木繁「海の幸」記念館

・昼食「館山炙り海鮮丼」 ・宿泊「たてやま温泉 千里の風」

・春野菜「神戸レタス」の収穫体験と巻き寿司づくり

□ 愛沢講演「青木繁が描いた布良と日露戦争の時代」(仮題) ~ 安房地域歴史文化研究会

◎ 3月25日(土) 14:00~ 館山市コミュニティセンター 資料代 200 円

青木繁が布良に滞在した 1904 (明治 37) 年は日露戦争の真っ只中。軍事演習の場であった布良は、海軍望楼などの施設もあり、写真撮影や写生が許されなかった可能性が考えられます。そのなかで青木が自由に絵を描けたのは、軍事的に重要な役割を担った帝国水難救済会布良救難所看守長だった小谷喜録の配慮があったと推察されます。また救難所長であり富崎村長だった石井嘉右衛門は喜録の岳父であり、義弟の日箇原繁は『月刊スケッチ』発行人であったことも分かり、近年の調査により、戦時下の漁村の様子や『海の幸』誕生の背景が明らかになりつつあります。NPO愛沢伸雄代表(青木繁「海の幸」誕生の家と記念碑を保存する会の事務局長)が、最新の調査報告をいたします。

* “ホモ・デルフィナス”の森づくり in 安房自然村 ～山頂まで遊歩道を整備中！

安房自然村の広大な山林を舞台に、“ホモ・デルフィナス”の理念を伝えるフィールド作りを構想し、当NPOがコーディネーターとなって、新たな地域づくり活動が始まっています。

昨年9月のNPO知恵袋講座でダイバーの成田均氏から報告されたように“ホモ・デルフィナス”とは「人間(ホモサピエンス)+イルカ(ドルフィン)」の造語で、人類初の水深100m素潜りを達成した故ジャック・マイヨールが、イルカのように生きよう！と提唱した人生哲学です。

成田氏を中心に有志が竹ヤブを刈り、遊歩道の階段を作り、見晴らしのよい山頂にテラスを作ろうと、連日取り組んでいます。面白そう！と思われる方は、ぜひ活動にご参加ください。

* 江戸人形浄瑠璃を楽しむ会

in 青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅

1月17日、青木繁「海の幸」記念館友の会では、江戸人形浄瑠璃保存会(中込功代表)による『寿式三番叟』『傾城阿波の鳴門 順礼歌の段』を上演していただきました。まるで、魂を宿しているかのように、情念や喜怒哀楽が伝わり、観る者の涙を誘いました。

小谷家からも浄瑠璃の脚本が見つかっており、かつて布良でも行われていた文化が継承され、素晴らしい機会となりました。



★青木繁「海の幸」が初めて海外へ

＜ブリヂストン美術館の名品ー石橋財団コレクション展＞

4月5日～8月21日 パリ・オランジュリー美術館

青木繁「海の幸」や藤島武二「黒扇」など日本人が描いた近代洋画をはじめ、ルノワールやピカソなど 石橋財団の所蔵作品がフランス・パリで公開されます。オランジュリー美術館の学芸員は、「ジャポニズムなど日本が西洋世界に与えた影響は研究されているが、その反対はフランスで知られていない。日本の洋画を紹介するよい機会」と言っているそうです。なお、東京京橋のブリヂストン美術館は、現在ビル建て替えにつき休館中ですが、2019年秋にリニューアル開館の予定です。

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

ガイド・サポートスタッフ募集中！

◎ 10名以上の団体を対象に、スタディツアーガイドを有料で承っています。

・ガイド料=1人あたり500円。座学・ガイドブック付は1,500円。時間・内容・料金等については応相談。

◎ 毎月第一日曜の午前は、個人や小グループを対象に、赤山地下壕ガイドサービス実施しています。

2月12日(日)14:00～14:50 キゲタハイム安全衛生協議会(東武倶楽部)22名=赤山

2月17日(金)9:15～16:00 モニターツアー東海汽船30名=城山・青木繁記念館

2月26日(日)10:50～15:50 全労働省労働組合千葉支部35名=座学・赤山・上陸・四面石塔

3月1日(水)10:00～15:00 いすみ市椿の会25名=大巖院・松岡椿の森

3月5日(日)9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス

3月7日(火)10:30～14:00 浦安市日の出公民館25名=座学・赤山・上陸

3月9日(木)14:00～15:00 久喜市高齢者大学20名=赤山

3月13日(月)10:00～15:00 太平観光42名=赤山・上陸・青木繁記念館

3月16日(金)10:00～15:00 太平観光42名=赤山・上陸・青木繁記念館

4月2日(日)9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス

4月15日(土) 日本大学生産工学部土木工学科(日本旅行)245名=赤山・上陸・大房岬

4月27日(木)10:00～12:00 昭和女子大学附属昭和高校200名=赤山

◎ 年金者組合安房支部文集「なの花」第41号 発行!

NPO会員も続々執筆! * 購読は、1冊300円(年金者組合員200円)

- ・愛沢伸雄「持続可能な社会形成に向けて～授業づくりから地域づくりへ」
- ・小谷福哲「小谷家住宅修復完了し青木繁『海の幸』記念館として開館!
- ・新屋敷孝「年金者組合千葉県本部定期大会報告記」
- ・小沢義宣「父のこと」…ほか

かにた村より支援募集!

エマオバザー

2月24・25日(金土)

8:30～14:00

※手伝える方はNPO事務局へ